

情報 ピックアップ



7月から スプレー缶、カセットボンベのごみの出し方が変わります

問い合わせ 清掃事業課 (西24北4、☎37・2311)

スプレー缶類は他の缶類とは別の袋で出す

これまででは、スプレー缶類※は、中身を使い切ってから「穴をあけて」、他の缶類と一緒に透明・半透明の袋に入れて「資源ごみの日」に出すことや「資源集団回収」に出すこととしていました。

※スプレー缶類：缶の中に液体と噴射剤を封じ込め、霧状に噴出させる仕組みのもの。(カセットボンベ、ヘアスプレー、殺虫剤、塗料スプレーなど)
スプレー缶類は燃やさないごみに絶対出さない
 スプレー缶類は「燃やさないごみ」(青色の指定ごみ袋)に絶対に出さないでください。必ず「資源ごみの日」に出してください。

7月からは、中身を使い切ってから「穴をあけずに」、他の缶類とは別の透明・半透明の袋に入れて「資源ごみの日」に出してください。なお、スプレー缶類は安全に処理する必要があるため、「資源集団回収」に出せなくなります。また、スプレー缶類のキャップやボタンは外して、「プラスチック製容器包装」として「資源ごみ

また、中身が残ったままのスプレー缶やカセットボンベは、収集車の火災や、処理施設の爆発事故につながるので大変危険です。中身が出し切れない場合は、清掃事業課に相談してください。

スプレー缶類のごみの出し方

現在 缶類はまとめて出す
 資源ごみの日 ○
 資源集団回収 ○

7月から 別々にする
 資源ごみの日 ○
 資源集団回収 ×

缶に穴をあけない
 カセット
 スプレー缶

スプレー缶類は中身を使い切ってから、穴をあけずに、他の缶類とは別の袋に入れて「資源ごみの日」に出す。

オビヒロカメラレポート obihiro camera report



ウエディング体験を通してすてきな思い出づくりができるイベント「幸福駅ハッピーセレモニー」が恋人の聖地・幸福駅で始まり、オープニングセレモニーでは、家族や友人、観光客の祝福の中、2組の夫婦が幸せの鐘を鳴らしました。

1956年(昭和31年)11月に開設した幸福駅は、昨年60年の節目を迎え、「愛情駅」という別名を持つ台湾新竹県の合興駅と友好駅協定を締結しました。これから、国を超えてさらにたくさんの人たちの幸福を生み出す地となっていくことでしょう。(4月29日、幸福駅)



大勢の祝福に笑顔があふれる



北海道における空港運営戦略推進シンポジウム〜とかち帯広空港〜

道内7空港の一括民間委託に関するシンポジウムが、住民や空港運営の参入を検討する事業者を対象に開かれ、約260人が参加しました。主催する国土交通省、北海道、帯広市により、空港の経営改革の取り組み内容のほか、とかち帯広空港と十勝のポテンシャルについて説明を行いました。(4月19日、とかちプラザ)

市単独開催10周年ばんえい十勝



2017年度のばんえい十勝がスタートしました。開門直後から大勢の来場者が帯広競馬場を訪れました。

来年3月25日までの毎週土・日・月曜日に、帯広競馬場でばんえい競馬が開催されます(一部変則で開催)。市単独開催10周年を迎え、さまざまなイベントや来場者サービスが予定されており、今年もばんえい十勝は見逃せません。(4月21日、帯広競馬場)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ (毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問 広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)

広告

Sogo Printing HOKKAIDO OBIHIRO SINCE 1954

主な出版物: べこくろ、月刊しゅん、スロウな旅北海道、northern style スロウ

ソニー印刷株式会社 TEL.0155-34-1281 FAX.0155-34-1287 帯広市西16条北1丁目25 http://www.sogo-printing.com

